

【企業経営に対する健康経営の効果について】

エー・アンド・デイは、健康経営を推進することで社員がより仕事へのやりがいを感じ、より一人ひとりの生産性が高まることを期待しています。

仕事へのやりがいについては、ストレスチェックの評価項目「仕事に満足だ」「働きがいのある仕事だ」について、「満足」と「まあ満足」の合計が全体に占める割合は2018年度から2022年度にかけてそれぞれ65.3%⇒66.6%、71.2%⇒69.8.%で推移。大きな変化はみられませんでした。

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
仕事に満足だ	65.3%	63.2%	66.0%	64.8%	66.6%
働き甲斐のある仕事だ	71.2%	70.8%	68.1%	67.9%	69.8%

一人ひとりの生産性について、ワークエンゲイジメント・プレゼンティーズム・アブセンティーズム等の指標を用いて、仕事へのやりがい・一人ひとりの生産性を測定し、健康経営の効果を継続的に評価していきます。

(2022年度のワーク・エンゲイジメントスコアは3.2点、プレゼンティーズムは80%、アブセンティーズムは2.2日)

【健康課題の改善に関して】

生活習慣病予防においては、健康診断の有所見者への受診勧奨とともに、自らの健康課題について主体的に取り組む健康チャレンジカードを毎年配布し、活用を勧めています。また、自社の血圧計を事業所内に設置し職場でも気軽に測定できるようにしています。社員食堂においては、ヘルシー会議を実施し、食堂スタッフ協力のもと減塩等のヘルシーメニューの提供を増やしています。ヘルシーメニューの選択率は引き続き8割以上で推移しています。

メンタルヘルス対策では、ストレスチェックの受験率は啓発や受験勧奨により9割を維持しています。高ストレス者は13%とやや増加傾向であり、産業医や保健師による健康相談は、早期対処につながっていますが、セルフケアや管理職によるケア、職場環境改善等の予防措置にも重点を置く必要があります。

働き方改革の推進においては、長時間労働による健康障害を防ぐために、水・金曜日をノー残業デーとし、月平均の残業時間は20時間未満で推移しています。

今後も取り組みについては、継続的な評価・改善・見直しを行いながら、より効果的な施策を実行し、健康経営を実現していきます。